

医局員紹介 東京医科大学八王子医療センター眼科

## 講師：安田佳奈子

私の専門は白内障・網膜・黄斑疾患の診療・手術です。白内障については手術を得意としています。

白内障は水晶体が混濁することで発症しますが、進行（混濁）の状態や程度、乱視の有無、他の眼疾患の合併や手術の危険因子の有無など、患者さんひとりひとり全く状況は異なり、同じ状態の患者さんはふたりとおりません。手術前にはこれらの違いを正確に把握し、全身状態なども十分に考慮して戦略をたて手術を行っております。

手術は、角膜2.2～2.4ミリ切開・無縫合という最も侵襲の少ない小切開で行っており、手術時間は4分前後ととても短く、手術後の炎症や乱視を最小限におさえております。もちろん術後の出血はありません。ですから手術翌日、鏡で目を見ても出血していないので白目（結膜）は赤くなっておらず、手術した形跡がわからないと思います。また乱視矯正用眼内レンズ（トーリックレンズ）や中間視力矯正眼内レンズなども取り入れておりますので、術後の裸眼視力や中間視力も良好な結果を得られております。

また白内障難治症例について豊富な経験があり、眼科手術歴25年のこれまでの経験を活かし、合併症を最小限に抑え、術後早期の視力回復を目指しています。

白内障が進行し日常生活において不自由を感じていた方が、手術後明るい笑顔で退院され、はつらつと外来に通院されている姿をみるのが私の喜びです。「思い切って手術をやってよかった」と思ってもらえるような、そんな診療をこれからも続けていきたいと思っております。

網膜・黄斑の主な疾患としては、加齢黄斑変性、強度近視や網膜色素線条症に伴う血管新生黄斑症、黄斑前膜、黄斑円孔、網膜中心静脈閉塞症、網膜静脈分枝閉塞症、糖尿病黄斑浮腫、中心性漿液性脈絡網膜症、増殖糖尿病網膜症・裂孔原性網膜剥離などさまざまな疾患があります。

普段の診療では的確な診断のもと、レーザーや硝子体注射、手術などの治療法についてわかりやすく丁寧に説明するよう心がけております。

手術や治療に不安いっぱいでもうしたらいいのか悩んでいる方、大歓迎です。気軽に相談・質問できるようなやさしい医師でありたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

